



学校通信

我が輩はトラフズク

令和7年2月21日 No.11

弘前市立第三中学校 (担当: 教頭 前田 達哉)

創造・感動・笑顔

「卒業式」に寄せて

校長 小笠原 恭史

いつの頃からなのか、もしかすると私の経験では初めから、「卒業式」は“練習練習”で、並ばせられて、歌わせられて、叱られて、とにかくきちんとしなければならぬときでした。

気づくと“させられていた卒業式”を強いるような先生をしていました。そんなある年、学級通信で「卒業式に寄せて」書こうとして、改めて、その意義を先人（語源）に求めたことがありました。

「卒」には“終える”、「業」には“仕事・学問”、「式」には“作法・形式”という意味がありました。「卒業式」は、中学での“学びを終える”ときの“作法”という意味になります。当たり前なこと過ぎて、その意味を大切にしていなかったことに焦りさえ感じました。それまで“別れのとき”として「卒業式」を進めてきて、例えば、何を学んだかを振り返ったり、「式」について“学びを終えるときの作法”として説明したりしてこなかったのです。

当日以前に、夢や働く未来に向かって“何を学んだか・成長できたか”、そして“何が出来なかったのか”を振り返ってもらうようにしました。3年生の終盤、入試に覆われる日常の中での問い掛けでしたが、子どもたちの表現には驚かされました。「思いやり」、「裏方のかっこよさ」、「働くとは」、なかには「自分の弱さ」に気づいたという人もいました。“先生と生徒は同じ人として～”などと、いい先生気取りであった自分にとって、同じ人であることはもちろん、大人として・教師として大切なことに気づかされた思いでした。また、それら振り返った文章の終わりには、異口同音「ありがとうございました」と記されていました。学びを終えるときの作法を教わった思いでした。

当日に向けて話すようになったことは、学び、成長した姿を表現してほしいということ、普段、家族だからこそ言わずにいる「ありがとう」を凜とした姿で表してほしいということ。そして、互いの感謝を伝え合う（確かめ合う）ように校歌を歌おうということでした。

「graduation（卒業）」は、ラテン語の「gradus」（段階・階段）を語源とし、“次へ進む”という意味があるのだそうです。3年生はもちろん、1年生、2年生も、それぞれの学年における学びを振り返ってみましょう。私たち教職員も、何が出来たのか・何がまだなのかを明確にして、それぞれにとって次へ進む節目の日として、「3月9日」を迎えましょう。

「保護者アンケート」への御協力ありがとうございました。

～いただいた結果を十分に踏まえ、今後の教育活動に生かしていきます。～

*回答率は約45%でした。「A」回答について、前年比5%以上プラス：**ゴシック**
5%以上マイナス：**網掛け**で表記しています。(％は小数点以下を四捨五入しています。)

番号	質問内容 (A:よくあてはまる B:あてはまる C:あまりあてはまらない D:あてはまらない)	A	B	C	D
1	学校は、「関わる・わかる・できる」授業づくりを通して、基礎学力の向上に努めている。	26%	60%	13%	1%
2	学校は、テスト（調査）の結果を基に授業改善するなど学習指導を工夫している。	19%	63%	17%	1%
3	学校は、教室・廊下の掲示や図書の整備、校庭や中庭など、生徒が学ぶ環境を整えている。	37%	58%	4%	1%
4	学校は、生徒からの相談や家庭からの問合せに丁寧に対応するなど、信頼関係の構築に努めている。	47%	44%	8%	1%
5	学校は、いじめのない学校づくりに積極的に取り組んでいる。	22%	59%	14%	4%
6	学校は、道徳の時間をはじめ、日常生活における指導を通して、時間やきまりを守って行動できる子どもを育成している。	27%	54%	13%	6%
7	学校は、各種アンケート等の結果も踏まえ、生徒のよいところや努力を認めるなど生徒理解に努めている。	32%	58%	9%	0%
8	学校は、体育の授業や思春期教室など様々な教育活動を通して、生徒の心身の健康づくりに努めている。	35%	58%	6%	1%
9	お子さんは、「学校が楽しい」と思っている（言っている）。	37%	47%	14%	2%
10	お子さんは、「授業はよくわかる」と思っている（言っている）。	17%	49%	27%	7%
11	お子さんは、家庭での学習に自主的に取り組んでいる。	19%	33%	38%	10%
12	お子さんは、進んであいさつをしている。【小中共通の目標】	28%	52%	19%	0%
13	お子さんは、あきらめず物事に取り組んでいる。【小中共通の目標】	20%	61%	18%	1%
14	お子さんは、友だちに親切にするなど、あたたかい心をもって周りに接している。【小中共通の目標】	39%	58%	2%	0%
15	お子さんは、毎日、朝食を食べてから登校している。	79%	13%	7%	1%
16	お子さんは、進んで運動している。	36%	29%	29%	6%
17	家庭では、学習や進路について話し合うなど、お子さんの学習に関わるようにしている。	41%	53%	6%	0%
18	家庭では、時間や決まりを守る大切さなどについて教えている。	42%	55%	2%	0%
19	家庭では、お子さんのよいところや努力をほめるようにしている。	50%	47%	3%	0%
20	家庭では、「早寝」「早起き」「朝ご飯」の大切さを教えている。	44%	44%	12%	1%
21	学校は、日常から家庭との連絡を密にし、緊急連絡についても適切に行っている。	38%	49%	12%	1%
22	学校は、参観日や学校だより、学年・学級だよりなどで、教育方針や学校の様子などを積極的に伝えている。	44%	52%	4%	1%
23	学校は、PTA活動に積極的に取り組んでいる。	36%	60%	4%	0%
24	家庭では、PTA活動や学校行事、参観日などに参加するようにしている。	25%	53%	20%	2%
25	家庭では、配付される学校だよりや学年・学級だよりなどを読んでいる。	49%	42%	9%	0%
26	学校は、小学校からの積み重ねを踏まえて「授業づくり」や「集団づくり」などを行っている。	26%	61%	11%	2%
27	学校は、小学校からの積み重ねを踏まえ、「弘前」について興味や関心を高めるための活動に力を入れている。	38%	57%	6%	0%
28	学校は、小学校からの積み重ねを踏まえ、心身の健康づくりとそれに向けた活動を行っている。	28%	63%	9%	0%
29	学校は、保護者や地域住民と連携・協働して（保護者や地域住民の支援を受けたり、その意見を教育活動に反映させたりしながら）学校運営を行うよう努めている。	26%	65%	9%	0%

【質問項目への回答結果について】

項目：4・5・6・8・21・22・27など、学校の取組について好評価をいただきありがとうございます。また、項目：24を中心にご家庭からの協力も一層高まり、感謝申し上げます。前年比で低下した項目や自由記述欄に寄せられたご指摘につきましては真摯に受け止め、今後の実践に具体的に生かしていきます。

○思いやりの心を持ち、共に生きる ○すすんで学び、あきらめない ○心と体をきたえ、笑顔を広げる

【自由記述について（回答）】

*生徒の問題行動への対応

「校則（指導）がゆるい」、「指導が伝わっていない」、「スマホや飲食、髪型などルール違反が多い（叱られない）」、問題行動について「校長をはじめ見て見ぬふり」などのご指摘をいただきました。

生徒と教師、ご家庭と学校の信頼関係が学校教育の柱と考えています。その信頼関係という絆があってこそ言葉や指導は行き交うものであり、その絆づくりに取り組んできました。生徒と教師の対話ができる関係・絆は築かれ、広がり始めたと思っております。

まだまだ途上であります。ルールを守ること、思いやりに基づく言動など、これからも私たち教師が課題意識を高くもって取り組んでいきます。つながってきた絆を通じて、学校生活の折々に、その都度“どうあるべきか”など対話しながら指導を重ねていきます。

*教職員の不適切な言動への指導

教師は「どのように伝えたか」以上に「どのように伝わったか」について責任をもって指導しなければならないと考えています。中学校教師の専門性において、教科の専門性はもちろん、思春期の子どもと関わる専門性（人と関わる専門性）が必要であり、常に研鑽していかなければなりません。教師の言葉が、子どもたちの人格形成に大きく影響を及ぼすものであることを自覚して指導に当たっていきます。

*「家庭学習の習慣がないのでテストや受験が心配であり、学校からの宿題や課題を出してほしい。」

各学級・学年において行ってきた「一人勉強ノート」（主に視写による「基礎基本」の定着）から、各教科による「宿題」に重点を移行しました。内容は、授業を踏まえた“一人でもできる活用（を通じた「基礎基本」の定着）”です。

家庭での学習の習慣化について、始めには一定程度の“やらせる（強制）”が必要であることは否定できませんが、この世代における「習慣化」に対しては、内発的動機づけ（意識の高まり）が不可欠です。例えば“受験勉強の取り掛かりが遅い・家庭での学習の習慣がない”というのは、それを裏づける進路意識の高まりに向けた取組、「勉強の意義」についての指導の積み重ね不足があると考えています。

家庭における自主的な学習につながる指導を一層行っていきます。

*「夏の面談を三者面談にした理由を知りたいです。二者面談も必要だと思います。」

年間計画にある面談については、三者面談としていますが、必要に応じて（学校や家庭からの要望で）二者面談も行っています。その要望がある際は随時、学校にお伝えください。

一方で、三中の現在を鑑みて「三者」の効果を求めているところはあります。それは、きちんと“生徒がいる前で保護者の方に・保護者の方がいる前で生徒に”頑張った点など成長を伝えることでもたらされるものです。

繰り返しになりますが、「二者面談」については、随時ご要望ください。

*「男子トイレの入り口の扉がないので、廊下から見えないように工夫してほしい。」

安全管理上の理由から、そのような状況になっています。男子トイレの小便器の左側2～3つ目まで廊下から見えることがありますので、右側の方を使用するなどしながら対応していきます。

*「ザック（1、2年生）とジャージが擦れて毛玉ができるので、ザックの素材の検討してほしい。」

メーカーに、このような問題が起きていることを伝え、今後、改良できるかどうか検討してもらいます。

*「給食の準備に10分かかり、食べるのが20分では時間が足りないので、もう少し時間をとってほしい。」

4校時に教室の移動があったときなど、給食の準備に時間がかかってしまうことがあります。4校時目の特別教室における授業の終わりを確実にしたり、各学級における準備をよりスムーズに行ったりしながら工夫していきます。

*「給食係がマスクをせずに咳をしながら盛り付けしているので、咳エチケットを指導してほしい。」

指導を徹底していきます。口に入るものを扱う場面での行動・意識を高める指導機会も設けて、指導していきます。

*「自転車通学について、もっとほとんどの生徒が乗れるようにしてほしい。」

朝の学校前道路の交通状況において、決まった時間に集中して多くの生徒が自転車で来ることの危険を回避したい、学区が学校周辺2km以内に入っている（徒歩約30分圏内）、自転車置き場を十分に確保できないことなどにより自転車通学を行っていません。

申請に基づき特別に許可している場合がありますが、ヘルメットの着用など安全ルールを守らない状況が増えており、安全管理上、厳密にしていかなければと考えているところです。

*「三中祭や合唱コンクール等で、立って見ているお年寄りがいた。三中祭で、体育館の上まで音が聞こえなかったので音響を工夫してほしい。」

保護者の方や地域の方々と共にある学校を目指している中で、来校していただけることについて有り難く思っております。

学校施設・備品等を駆使して工夫していきます。

*「部活動顧問と部員のコミュニケーションが乏しく、父母会の大事なやり取りがスムーズに行かないときがある。」

全国的に部活動の地域移行、全学的にも部活動改革が進められている中で、一層、保護者の方々にお世話になりながら運営していくことになります。それにおいて、父母会等、打合せがスムーズでない状況は改善しなければなりません。早急に対応します。

*「運動部は、上を目指す人と楽しみたい人で分けるのはどうか。」

前述にもありますが（地域移行・部活動改革が進められている中で）、「上を目指す人」は地域クラブで行うということが今後の動向になっていくように思われます。

「上を目指す」まではいかなくとも、毎日、体を動かしたい・スポーツを楽しみたい、文化活動を行いたいというニーズがあることは承知しており、そのニーズに応えていくことの大切さも認識しています。国や自治体の動向の中で、三中として善処していきます。

*「アンケートは無記名の方がいいのでは。選択肢に『わからない』を入れてほしい。」

“記名・無記名”について、アンケートの趣旨・内容によって、それぞれの効果があると考えます。本校において、本アンケートの趣旨・内容を鑑みて判断していきます。

4件法（4択）にしているのは、「どちらでもない」という回答を極力避けたいというところがあります。しかしながら、「どちらでもない」と「わからない」は、意味が違いますので検討していきます。

*「学校で起きていることやテストの全体的な結果など、もう少し教えてほしい。」

これからも各種「通信」で活動の様子等を積極的にお伝えしていきます。また、今後は、テスト後に全体的な傾向（学習指導の状況）等をお伝えするようにしていきます。

夏休みに行った「第三中学校の子どもたちの未来に向けて語る会」など、そのような機会を今後も検討していきます。

*「車での送迎時、体育館前に駐車している車が通行の妨げになっていることがあるので、車が2台すれ違いができるようにしてほしい。」

駐車場所や経路などを再確認（周知し）、安全に通行できるようにします。

3月の主な行事予定

3日（月）	短縮6時間、⑤⑥3年卒業式練習	12日（水）	短縮5時間、①卒業式後片づけ
4日（火）	短縮5時間、⑤3年卒業式練習	13日（木）	短縮5時間、職員会議
5日（水）	1、2年：短縮6時間 3年：短縮5時間、⑤入試事前指導	14日（金）	短縮6時間 県立高校合格発表
6日（木）	1、2年：平常6時間、実力テスト 3年：県立高校入試	17日（月）	短縮5時間
7日（金）	短縮6時間、⑤⑥卒業生を送る会	18日（火）	短縮5時間、⑤大清掃
8日（土）	卒業式予行 ※登校8:30 ※1、2年は弁当持参	19日（水）	短縮5時間
9日（日）	卒業証書授与式 ※登校9:00	21日（金）	短縮5時間
10日（月）・11日（火）	振替休業日	24日（月）	短縮5時間
		25日（火）	修了式、離任式 ※下校11:05
		26日（水）	春季休業～4/6